

18 グローバル教育センター



グローバル教育センターとは

グローバル教育センターは、留学生教育部門と海外派遣教育部門からなります。外国人留学生の教育と、海外留学を志す国内学生対象の教育を、同じセンターで所掌することにより、留学生と国内学生がともに学び合う機会をよりいっそう拡充していきます。

留学生教育部門

神戸大学では、87 国・地域から来た 1,325 名の外国人留学生が学んでいます（2023 年 11 月現在）。本学全体の留学生構成比をみると、大学院生や研究生が中心ですが、近年は交換留学生の割合も増えています。留学生数の増加に伴い、留学生活における留学生のニーズや目標は多様化しています。留学生教育部門では、多様な背景をもつ留学生のために、下記のような形で教育や支援を行っています。

☆日本語・日本事情教育

- ・本学留学生等を対象に、レベル（初級・初中級・中級・中上級・上級の 5 レベル）や技能・目的別（例：JLPT 対策、ビジネス日本語）に各種の日本語科目を提供しています。本学に所属する留学生であれば、だれでも無料で受講（ないし聴講）できます。
- ・学部留学生のために下記の「日本語・日本事情科目」を開講しています。

日本語Ⅰ／Ⅴ（作文）、日本語Ⅱ／Ⅵ（文法）、日本語Ⅲ／Ⅶ（聴解・会話）日本語Ⅳ／Ⅷ（読解）、日本事情Ⅰ／Ⅱ

各学期 5 科目開講され、科目名末尾の数字が開講時期（「前期／後期」）を示しています。時間割やシラバスはセンターHP 等で確認してください。

- ※一部の学部では、学部正規留学生が上記の「日本語・日本事情科目」の単位を修得した際に、学部の外国語科目単位数に算入することを認めています。「日本語・日本事情科目」の修得単位を外国語科目の単位として算入することが可能かどうかは、教学規則等を確認した上で、所属学部の教務学生係に確認をしてください。

☆留学生のための修学及び生活に関する相談・指導

- ・留学生教育部門の専任教員が、留学生の学習・研究、異文化適応や指導教員との関係、日本における日常生活に関する悩みや問題に対して、学内外の専門家と連携をとりながら、指導助言を行います。特に、学部新入留学生で神戸大学での学習や大学生活に不安を抱えている人は、留学生教育部門の教員にぜひ気軽に相談してください。相談時間はセンターの HP（留学生教育部門）で確認してください。
- ・地域ボランティア団体の KOKORO-NET in 神戸、留学生との交流・留学生支援を目的とする神戸大学公認課外活動団体 Truss 等と協働し、留学生や外国人研究者及びその家族への支援を行っています。

☆ネットワークおよびキャリア形成支援

- ・留学生教育部門では、学生間の交流を深めるためのさまざまな活動を行うと共に、卒業・修了留学生と現役学生との間をつなぐための活動も行い、神戸大学の人的ネットワークの充実に貢献しています。
主な行事：留学生ホームカミングデイ（10 月）、留学生同窓会（国内／海外）等
- ・本学海外同窓会や、キャリアセンターをはじめとする学内の他部局と連携し、神戸大学グローバルキャリアセミナーやグローバルジョブフェアを開催するなど、留学生のための就職支援活動を展開しています。

☆留学生のための連携事業

留学生教育部門では、日本学生支援機構からの委託を受けて、兵庫国際交流会館における国際交流拠点事業（G-Navi）というプロジェクトを遂行しています。留学生の学習・研究支援とキャリア形成、及び地域における文化交流を目的に下記のような活動を行っています。ぜひご利用ください。

日本語アカデミック・ライティングラボ：留学生の日本語によるレポートや論文作成などのサポート

就活のための日本語講座：日本で就職を目指す留学生向け就活のための日本語講座

多文化・多言語ワークショップ：留学生が講師となって自らの文化や言語を紹介し、地域住民と交流するワークショップ

海外派遣教育部門

本学学生の海外留学・研修を支援しています。個別の留学相談を行ったり、地域別の海外留学フェアを開催したりすることで、海外留学や海外研修、海外インターンシップなどに関する正確な情報を提供し、個々の学生が自らの興味関心・キャリアプランに沿った留学を計画できるよう支援します。全学部を対象とした神戸グローバルチャレンジプログラム（神戸 GCP）も実施しています。留学が決定した学生を対象に、派遣前には異文化理解教育や英語での留学準備に特化した授業の開講、留学中には留学生活の省察を促すフォローアップ指導などを行います。帰国後にも、留学経験を生かしたキャリア形成の支援や、さらなるスキルアップのための専門授業を開講します。海外留学や神戸 GCP については、「15 海外留学」のページも参照してください。

☆海外留学相談

海外留学には交換留学（全学協定・部局間協定）、私費留学、海外研修、語学留学など目的に応じて様々な形態があります。「語学力を伸ばしたい」「専門分野を学びたい」など、自分自身がどのような目的や目標で留学をしたいか具体的に計画を立てましょう。海外派遣教育部門では、皆さんの目的に沿った留学計画作りをサポートしています。海外留学のための資料を豊富にそろえ、個別の留学相談にも応じます。予約は大学 HP「留学相談・海外留学フェア情報」からお申し込みください。

☆海外留学フェア

年に数回オンライン・対面の双方の形式で「海外留学フェア」を行っています。内容は、各回によって異なりますが、海外留学一般についての基礎知識の提供や、学内での各種留学プログラムの案内、また海外留学に関する奨学金に関する説明会なども行っています。興味のある人はぜひ参加してみてください。2024 年度の実施予定については、大学 HP「留学相談・海外留学フェア情報」で確認してください。

国内学生と留学生が共に学ぶ国際共修

・神戸大学では、全学部の国内学生・留学生（正規留学生・交換留学生）を対象に、国内学生と留学生が共に英語・日本語で学べる機会を拡充しています。2024 年度に開講されている全学共通授業科目において、交換留学生を含む留学生の履修が認められており、多様な文化・言語背景を持つ学生同士が学び合える授業として以下の科目があります。

- 「グローバルリーダーシップ育成基礎演習」（後期）
- 「総合科目Ⅰ（アクセシビリティリーダー論 1）」(Q3)
- 「総合科目Ⅰ（多文化共生のための日本語コミュニケーション）」(Q2)
- 「複言語共修セミナー（タンデム）」(Q1/Q3)
- 「複言語共修セミナー（外国語としての日本語）」(Q2)
- 「グローバルエキスパートセミナー」（Q3）
- 「グローバルラーニングスキルズ」（Q1/Q3）

・グローバル教育センターでは、毎年「神戸大学国際学生交流シンポジウム（通称 KISS）」という、日英バイリンガルによる学生交流シンポジウムを開催しています。このシンポジウムの企画・運営を担うのは、全学共通授業科目「グローバルリーダーシップ育成基礎演習」の履修生です。国内学生・留学生からなる履修生は、異なる文化背景や言語能力をもつ仲間と共同で KISS の企画・準備を進め、その過程において、多様な他者と協働するために必要な異文化間能力やリーダーシップを身に付けることができます。

・神戸大学では、「文部科学省大学の国際化促進フォーラムプロジェクト：国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開（主幹校：東北大学 連携校：東京外国語大学・信州大学・大阪大学・神戸大学）（令和3年度～6年度）」に参画しています。本フォーラムでは、東北大学はじめ本学を含む連携校が共同で国際共修（英語では Intercultural Collaborative Learning）授業やプログラムを開発し、相互に授業や授業外活動を提供していくことを目指しています。

※グローバル教育センターでは、留学生対象の短期プログラム等で、サポーターとしてお手伝いをしてくれる国内学生を随時募集しています。学内における国際交流・学び合いのもう一つの機会となります。興味のある方は、[センター HP（http://www.gec.iphe.kobe-u.ac.jp）](http://www.gec.iphe.kobe-u.ac.jp) をご覧ください。